

## 関東甲信越支部

支部長 中村陽一

第29回日本死の臨床研究会関東甲信越支部大会が、2022年6月5日に長野市で愛和病院・平方眞さんが会長をつとめられ『「死と日常の距離感」～人生を「こんなはずでは」で終わらせないで～』をテーマに、現地参加とWebのハイブリッド形式で、5つの講演で開催されました。

講演1「釈迦涅槃図絵解き」～お釈迦さま最後の旅：岡澤恭子さん（絵解き師・長野市長谷寺住職夫人）

講演2「本人・家族の希望を尊重した施設での看取り」：奥原ますみさん（介護老人福祉施設保健施設のむぎ施設長）

講演3「いつかは死ぬ予定のあなたに、今知ってほしいこと」：平方眞さん（愛和病院副院長）

講演4「救急集中治療領域における緩和ケアを考えてみる」：木澤義之さん（筑波大学医学医療系緩和医療学）

講演5「若い人に種を蒔く「いのちの授業」」高宮介さん（昭和大学医学部医学教育学）

「日常の中で死と向き合う」ことが必要ではあるが、どれくらいの距離感で死と向き合っていくべきなのか、参加した各人が心の中で考えるきっかけとなったように思います。

来年度の支部大会は篠原靖志さん（さんむ医療センター院長）に大会長をお願いし、千葉県での開催を予定しています。